



沿道から安全運転を呼びかけ
悲惨な交通事故が起きないことは、

私たちの願いです。夏の行楽シーズンを前に、7月14日に追分地区の国道234号でドライバーに安全運転を呼びかけるセーフティコーン作戦が行われ、町民など50名が集まりました。「安平町は交通事故死ゼロを継続中ですが、今後も皆さんの協力で連続記録を伸ばしていきたい」と瀧町長が述べ、交通安全協会の佐藤会長は、「安平町から一人でも犠牲者を出さないことを願っています」と挨拶しました。参加者は沿道から黄色い旗を振り、事故の撲滅を呼びかけていました。

キャンプで思い出づくり

「キャンプの体験をとおして地域子ども会のリーダーとしての自覚を育てよう」と安平町子ども会育成連絡協議会主催のリーダーキャンプが7月8日と9日に鹿公園キャンプ場で開かれました。

夕食は空き缶で作った飯ごうで炊いたご飯にカレー。隠し味は各グループで決め、チョコレートを混ぜたカレースープが意外に好評でした。

日が暮れ、中学生のジュニアリーダーがキャンプファイヤーや肝だめしを企画。自然に包まれた中で一泊二日の思い出づくりを行いました。



ボランティアで鉄柵のペンキ塗り

70歳以上の方が加入している「あかねいきいきクラブ」の皆さんがあかね公園の整備を行いました。

ところどころ赤茶色になった鉄柵のペンキ塗りをボランティアで実施。設置後、一度も補修されておらず、変形した柵を真っ直ぐに伸ばすことから始まる作業でした。

さびをきれいに取り除き、さび止めを施し、その上に白いペンキを塗って7月30日に完成しました。

「自分たちができることは、今後も精力的に取り組んでいきたい」と参加した方が奉仕活動の大切さを話していました。



地域の代表者が一堂に会して

7月19日に早来庁舎で自治会長等会議が開かれ、早来、追分両地区から自治会と町内会25団体の代表者が集まりました。

合併後、初めての会議で町長が地方行政の現状と今後のまちづくりの考え方を説明し、地域コミュニティの中核である自治会や町内会の取り組みに期待していると挨拶。行政側から日本赤十字社員や社費募集の協力依頼や、新規事業の紹介などの後、出席者した方から道路の改善や雑草対策をはじめ、さまざまな意見や要望が出されました。町では、これから住民の皆さんと対話形式による町政懇談会を予定しています。

